

# 広島市中区医師 第23回医療安全管理研修会記録

## 医療安全・院内感染対策研修会参加記録

[研修会実施日] 2024年8月2日(金)  
[研修会場] 大手町平和ビル 5階 大会議室

[参加者]

[感想・意見など]

### 研修会報告(サマリー)

#### [1]院内感染「感染対策の基本～サイレントパンデミックに備えよう～」

わたしたちは、2020年から約4年間新型コロナウイルス感染症のパンデミックを経験し感染対策に取り組んだ。しかし、その陰で薬剤耐性菌が増加していることが問題となっている。薬剤耐性菌は気づかない間に感染が拡大する。感染対策の基本は標準予防策であり、病原体・宿主・感染経路の三要素のいずれかを断ち切り感染防止に努めなければならない。それは、薬剤耐性菌でも今後到来する新興感染症でも同様である。再度、標準予防策を確認して真摯に感染対策に取り組む必要がある。

### 伝達講習記録

伝達講習実施日 令和 年 月 日 ( )

[報告者]

[参加者]

[感想・意見など]

# 広島市中区医師 第23回医療安全管理研修会記録

## 医療安全・院内感染対策研修会参加記録

[研修会実施日] 2024年8月2日(金)  
[研修会場] 大手町平和ビル 5階 大会議室

[参加者]

[感想・意見など]

### 研修会報告(ガマリー)

#### 【2】医療安全「がんの見落としと医療安全」 <がんの見落としが関係した訴訟事例>

事例1 東京地裁、平成17年11月30日判決

胃内視鏡検査：胃に多発過形成性ポリープあり。自覚症状なく、検査でがんを疑わせる所見なし。

担当医師：半年～1年後の内視鏡検査・治療を勧めたが、患者は受けず。

1年半後、進行胃がん+肝転移で発見され、その後、死亡。

担当医師に胃がんを見落とした過失はあるか？

事例2 名古屋地裁、平成21年1月30日判決

平成14年6月(58歳時)

職場の定期健康診断(胸部直接X線)を受ける。判定「異常なし」(後で見返すと2cm大の異常陰影あり)。

(読影担当医師：716枚を約2時間で読影)

平成15年6月(59歳時)

職場の定期健康診断(胸部直接X線)を受ける。判定「異常なし」(後で見返すと3cm大の異常陰影あり)。

(読影担当医師：707枚を約2時間で読影)

平成16年6月(60歳時)

職場の定期健康診断(胸部直接X線)を受ける。判定「右上肺野の異常陰影」。

肺がんとして診断され、化学療法を受ける。

平成18年9月(62歳時)：死亡

読影担当医師に、平成14年と15年に肺がんを見落とした過失はあるか？

### 伝達講習記録

伝達講習実施日 令和 年 月 日 ( )

[報告者]

[参加者]

[感想・意見など]